

弁膜症の手術を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/	/	/	/	/	/	/ ~	/	/	/ ~	/
経過	入院日～	手術前日	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～	手術後7日目	手術後8日目	手術後9日目～	手術後13日目
目標	手術・麻酔に臨むための身体的準備ができています。 胸部症状・所見がない。 			全身状態(意識・循環・呼吸)が安定している。 ドレーン排泄に問題がない。 	創部に問題がない。 発熱がない。 痛みがコントロールできている。	ドレーンが抜去できる。					
処置			朝6時頃に排便を促す座薬を入れます。	状態が良ければ、当日夜に人工呼吸のチューブが外れます。 酸素吸入をします。	人工呼吸のチューブが外れます。 医師の指示があるまで酸素吸入が続きます。 回診	状態に応じて、体に入っている管(ドレーン)を抜きます。 傷の状態を確認します。 立てるようになったら体重測定(毎朝)をします。 					
点滴				点滴をします。	状態に応じて、点滴が終了になります。						
お薬	医師に指示された薬のみ内服してください。	21時に下剤を内服します。	朝6時に指定された薬を少量の水で内服します。		医師の指示があるまで内服は中止です。 食事が開始されるときに内服薬が再開になります。 						
検査	血液検査やレントゲン、心電図などの検査があります。			採血・レントゲン 12誘導心電図	採血・レントゲン	採血・レントゲン	採血・レントゲン (適宜)			12誘導心電図 心エコー	
食事	塩分制限食になります。	夕食から経口補水療法を行うことがあります。 21時以降は食べることはできません。	食べることはできません。 朝7時までOS-1のみ摂取できます。	お口にチューブが入っているため、食べたり飲んだりすることはできません。	お口のチューブが抜けた後はうがいをすることができます。 飲みこみに問題がなければ、水分がとれるようになります。 飲水制限があります。	術後の経過が問題なければ、食事が開始になります。	食事摂取状況や排便の状況を見ながら、食事の形態が変更になります。				
活動安静度	制限はありません。		手術室へ歩行または車いすで行きます。	ベッド上で安静に過ごします。 寝返りは看護師がお手伝いします。	端座位、起立、足踏み	歩行開始	★リハビリで安静度が変わります。理学療法士が介入しながら、説明をします。 				
排泄	トイレ			手術中に尿の管を入れて自然に尿が排出されるようにします。 排便はベッド上で行います。		立てるようになったら、ポータブルトイレを設置し、看護師が付き添いで移乗します。	トイレ				
清潔	シャワー浴				温かいタオルで体を拭きます。看護師がお手伝いします。	医師の指示があれば、洗髪・シャワー浴が可能になります。 シャワー浴の許可がない場合、温かいタオルで体を拭きます。					
説明指導	担当医から入院治療計画と手術の説明があります。 看護師から入院生活の説明があります。 薬剤師から薬の確認と説明があります。	ICU(集中治療室)への持ち込み物品の説明と確認、手術の準備を行います。 手術室、集中治療室の看護師の訪問があります。 	ご家族へ手術結果について説明があります。 	手術後の経過をお話します。		一般病棟では、平日は9時から、土日・祝日は10時頃から回診があります。 回診が終わるまでは、ベッドでお待ちください。 					
その他				手術後はICU(集中治療室)に入ります。		全身状態が落ち着いたら、一般病棟へ移ります。 					



内服薬は医師の指示通りに内服するようお願いします。
退院後の生活について不安がありましたら看護師にお声がけください。